

<第163号>

事務局だより

平成28年11月10日発行

現在の会員数

合計 221名

(男性 150名)

(女性 71名)

□ 互助会忘年会のお知らせ

互助会忘年会を下記のとおり開催します。いつも一緒に働いている仲間同士、誘い合ってご参加ください。

1. 日 時 平成28年12月2日（金）午後2時～午後5時
2. 場 所 レストラン御幸（2F）
3. 会 費 3,000円
4. 申 込 み 11月24日（木）までに事務局へ。会費は当日会場にて受領します。
5. 備 考 キャンセルは3日前まで可能です。無断欠席の場合、会費をいただくことがあります。

※ 朗 報 今回も、ハズレなしのお楽しみ抽選会を行いますので、ぜひ参加してください。お待ちしております。

□ ≪募集≫ 展示作品・我が自慢 ～黒石りんごまつり～

先月号でもお知らせしたとおり、11月19・20日に開催される、黒石りんごまつり（会場：スポカルイン黒石）で展示する作品を募集しています。

また、作品のほかにお宝や珍しい物、自慢できる物なども募集します。これぞ我が自慢！と思う物を披露してみませんか。出品のご協力をお願いします。

◆受付は11月14日(月)まで

出品者は作品に作品名を添えて、事務局へ持参くださるようお願いいたします。

「我が自慢」は事務局へお知らせください。

□ ≪急募≫ 除雪作業者

除雪作業者を募集しています。希望職種ではないものの就業できる方、またはやってみたい方はぜひ事務局へお知らせください。

【高齢者世帯 除雪作業】男女問わずどなたでも募集しています！

生活通路確保のための除雪で、作業時間は1件あたり1時間程度です。

ご連絡をお待ちしております。

□理事長のつぶやき ～持ってる人は持ってる～

黒石市は岩手県宮古市と姉妹都市を昭和41年に締結して50年。その50年を記念して、宮古市の震災復興状況の視察ということで、当シルバー人材センターの一泊研修旅行が、去る9月19日～20日に実施され、15人が参加して宮古市田老町が誇る防潮堤を視察、研修した。

波が越える事がない安全な防潮堤ということで10mの高さを誇っていたが、5年前の3月11日に発生した東日本大震災による大津波は、あっさりと越えて、田老町だけでも死者行方不明者合わせて181名の犠牲者を出したことは記憶に新しく、『自然の猛威の前に人間は無力だ』とあらためて感じた処でした。

なかでも記憶に残ったことは、復興のシンボルとして現在造られており、以前よりもさらに高くなった新しい防潮堤(14.7m)である。下にいると海も何も見えない圧迫感があることと、観光ガイドの小幡 実さん(前はたろう観光ホテルの側で民宿経営)の「津波は恐ろしいものと分かっているが、何年かすると人は忘れる。それが一番怖い」と語ったことが記憶に残っている。合掌

旅行の話ついでに、当シルバー人材センター会員でいろんな活動をされているKさんは、会議や旅行などで黒石を離れるときは、配偶者(旦那さん)が“寸志”をくれるという話を思い出した。

このことを、今回の宮古市の一泊研修旅行の2～3日前にカミさんに話したところ、びっくりしたことがある。7月にカミさんが北海道旅行をするということで、Kさんの言ったことを思い出し、わずかばかりのお土産代を渡したことがあった。私が折角奮発して渡した“お足”より、一緒に行った人達はその倍も貰って行ったという話を聞かされ、宮古市への研修旅行で北海道旅行と同額を狙っていたのだが、敢え無く半分で手を打つことに落ち着いたのである。

それにしても、『上には上がいるもの』というより『持ってる人は持ってる』ものだと妙に感心した処であるが、Kさんの本音は「金額の多少を問わず、そんな心遣いがうれしいものだ」と言う。

11月を迎え、野菜の高騰が家計を直撃する昨今の状況を見ると、体に染みる懐具合の寒さが勝り、小生のような凡人には『それにつけても金の欲しさよ』の言葉しか見つからない晩秋の夜長である。こんな時期は、体を温めるために熱い鍋でも突っつきながら熱燗で一杯、といきたい処だが……。

発行 公益社団法人黒石市シルバー人材センター

〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1

TEL 0172-52-5131

緊急連絡先 080-6011-5131